

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
山本隆一郎	基礎ゼミナールA	<p>本授業は、1年次配当のゼミナール科目である。評価の平均点は5点中4.7点であり概ね高い評価を頂いた。わかりやすさ・表示の見やすさ・話しの明確さ・熱意は4.8点と高かった。本年度から学科内でのシラバス内容の調整がありすべての資料や授業運営の仕方を再構築したが、一定の意義があったと考えられる。例年述べていることであるが、基礎ゼミナールAの初期は大学での適応を定着させることが中心であり、ゼミ生同士の相互作用の良好さが大きく授業評価に反映される印象を持っている。満足度の高さは、今後の学生生活への適応にとっても好ましいと考えられる。授業内容を踏まえて、今後主体的に学び、学問に興味を深めてもらえることを祈念する。</p>
山本隆一郎	臨床心理学概論（2022年度入学者向け）	<p>本授業は、2年次の必修科目である。2021年度以前入学者は通年の授業であったが、2022年度入学者より半期となっている。また、本授業はオンライン授業科目であり、オンデマンド形式により行われた。半期化をした初めての年度であったが、評価の平均得点は5点中4.5点であり概ね高い評価が得られたと感じている。また、評価が比較的低かった項目として、「授業内容のわかりやすさ（4.4点）」、「私語を注意するなどスムーズな授業運営（4.3点）」が挙げられる。授業の後半で取り扱う心理療法は、背景哲学や各種モデルが抽象度が高いため半期化したことに伴い、これまでよりも短い時間に抽象的な内容の割合が多くなったことが背景と考えられる。わかりやすさに2点以下をつけたものは存在しなかったため特に今後の改善を要する必要性は感じてはいない。また、スムーズな授業運営については、毎回の授業開始5分前に予約送信をしており、各授業動画も100分を超えないように（小課題を含めて100分となるように）設定をしているため、これは「私語を注意する」という部分が受講生の中で回答できなかったため中間項などにつけるものが多かったため比較的低かったと考えられる。自由記述も記入者は概ね肯定的な感想を述べていたことから、半期化初年度として順調に授業運営できたと考えられる。</p> <p>さて、この授業では臨床心理学は「人のHappyやUnhappyという事例個別的で文脈依存的な不良設定問題を理解し支援する学問である」と説明をしてきました。また、この学問を学ぶことは単に心理職の根幹となる知識を身に着けるということだけでなく、自分らしく生きるためのヒントをつかむことにもなると授業で強調をしてきました。今後の生活の中で困ったことがあった時に、本授業の内容がより自分らしく素敵に生きるためのヒントとなることを祈念しています。</p>
山本隆一郎	健康・医療心理学	<p>この授業は3年次配当2群選択科目かつ公認心理師資格に関する科目である。評価の平均点は4.7点と高い評価を頂いた。例年この授業の評価は高く、学生さんにとって身近な「健康」がテーマであることに起因していると考えられる。また、自由記述でも「生活のためになる」「人生のためになる」といった意見や「半年で終わってしまうのがさみしい」といった教員冥利に尽きるコメントもいただいた。また、「他学科の学生もわかりやすい」といった感想もあり、他学科の学生にも理解でき、3年次の公認心理師科目として必要な内容を押さえるという部分も達成できたと考えられる。</p> <p>例年述べていることであるが、特に実践的な内容を含むこの授業の真価は、学生の皆さんの健康行動に表れてこそ意味があるので、授業内容を思い出し、健康な生活を送り、それぞれの価値にコミットした活動が送れることを祈念する。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
福田一彦	心理学概論A	<p>心理学概論Aに対する評価で全学平均よりも低かった項目は、「2. 授業中の自分の受講態度はよかった」「4. 授業に参加した際は積極的にノートをとる、質問に答えるなどをした」「5. 教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取り組みをおこなった」「6. この授業に関して予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」「8. この授業に対する自分の取り組みから考えて自分はこの授業を評価する資格がある」「17. 学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に務めていた」「18. 教員の授業に対する熱意を感じた」である。ほとんどは、学生自身がこの授業への取り組みが十分ではなかったと反省している項目である。17および18は、オンデマンド型の授業には必ずしも当てはまらない項目である。逆に全学平均よりも高かった項目は「10. 授業を通して多くの知識を得ることができた」「16. 話し方は明確だった」「23. 総合的に考えてこの授業を後輩や他の人にすすめたい」であり、一般的にこの授業自体への評価は良好であったと考えられる。以下、自由記述欄の記入を再掲する。</p> <p>「面白かったです」「普段の生活のちょっとしたことが解説されており面白かった」「授業内容が理解しやすかった」「授業を通して遺伝と環境についてのことや脳の構造などについて深く知ることができた」「オンデマンド形式なので自分のペースで学習できてとてもよかった」「オンデマンド形式で何回も見直すことができ、また小テストまでに時間がありゆとりを持って受講できました。毎回とても興味深い授業で楽しかったです」「オンデマンド形式であったのでわからないことがあれば何度でも繰り返し見ることができたのが良かった。また、小テストが毎回の講義後であったのも自分がどれくらい理解できているか数値化して知ることができて良かった。」「いろんなことを学べてとても充実した授業でした」以上のように、好意的なコメントをいただいて有難かった。ネガティブな自由記述は一件もありませんでした。「なし」と書いてあるものを除いて、以上に掲載したものが自由記述の全てです。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
福田一彦	睡眠の生理心理学	<p>全学平均よりも低い評価項目は「2. 授業中の自分の受講態度はよかった」の1項目くらいでその他は全学平均とほとんど同じである。全学平均よりも少しだけ高かったのは「15. 授業開始・終了の時間は守られていた」くらいで、一般的に全学平均とほぼ同じであった。項目2は、授業の評価というよりも自分自身の受講態度を反省しているものである。以下、「なし」や「特になし」という記入を除いて自由記述欄の記述を再掲する。「話すのが早くてメモし終わる前に次のメモすることが出てきて間に合わない」「半年間ありがとうございました」「睡眠の授業で習ったことを実践で活かしていきたいと思いました」「睡眠の原理や仕組み、問題点について学べて興味深かった」「授業の内容はわかりやすく、日常生活に活かしやすいものでとても満足している。しかし、第八回に実施された小テストは去年のものと同じ内容だったらしく、勉強しなくとも満点を取れてしまっていたことには思うところがあった。」「資料だけでなく黒板も使っておりとても分かりやすかった」「楽しかったです」「とてもおもしろかった。」「ありがとうございました！！」</p> <p>最初のコメントですが、情報量が多いとどうしても早くしゃべってしまいます。別の授業でオンデマンド形式の授業のコメントでは「分からないところは繰り返し見られるので良かった」などのコメントが散見されるので、どうしても対面式の授業に関してはこの点がデメリットではあるなと思いました。昨年度は、ハイブリッド型の授業として、対面授業を行いながらGoogleクラスルームで公開し、その場面を録画してクラスルームで公開していました。今後は、このような工夫も行った方が良いかもしれませんね。オンデマンド形式の授業は新型コロナウイルス感染症の蔓延により広がった形式ですが、真面目な学生さんにとっては、動画を何回も見るとの良い側面もあるという事に気づかされました。また、そのような向学心の強い学生さんからのコメントは大変うれしく思います。「小テストが去年と同じだった」というコメントですが、多少は変えているのですが、教えている内容がガラリと変わるわけではないので、どうしても過去の問題を手に入れた人が有利になってしまうという弊害はありますね。出来れば小テストの問題を復習して最後の定期試験で成績を上げてもらいたいので、小テストの問題は意図的に回収をしていないのですが、この問題はとても難しい問題だと思います。不公平感を感じてしまう学生がいるのも良く分ります。</p> <p>これら以外は好意的なコメントばかりだったと思います。実は、私がこの授業を担当するのは昨年度が最後で、今年は後任の先生が担当する予定だったのですが、ある事情から、急遽私が今年この授業を担当することとなりました。睡眠に関する研究は私の研究分野の専門領域であるため、授業を担当する負担はありましたが、担当できる期間が延びたことは個人的には嬉しくもありました。学生さんにとっては、1回キリの授業ですが、私個人としては、江戸川大学で長い間行ってきた専門の授業だったので、思い入れもあり、そして、長い間、この授業が皆さんから愛されてきたことをとても嬉しく、そして誇りにも思います。長い間有難うございました。</p>
高野直樹	経営学概論	<p>「経営学の基礎についてしっかり学びました」との自由記述があった。今後も初学者が経営学の基礎を楽しく学べるよう授業を工夫を重ねていきたい。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
林 香織	コミュニケーション学概論	<p>全学平均を上回った項目として、特筆したいのは「問6：この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」が、3.3ポイント（平均は2.9）と高かったことです。コメントを見ても、「引用の仕方が身に付いた」「授業終わりの振り返りがよかった」などと記載されていて、準備学修や復習の導入がうまくいったほうだと感じました。大学の予習・復習は慣れていないとどうしたらいいのかわからない、ということもあると思うので、今後も工夫を凝らしていきたいと思います。また、本授業は専門用語などが大変多い理論系科目にも関わらず、「面白かった」というコメントをたくさんいただきました。特に具体例についてはわかりやすいとされていたので、今後も時事的な話題を取り入れつつ、わかりやすい工夫を続けます。</p>
林 香織	メディア史	<p>全学平均より上回った項目として、「問6：この授業に関連して、予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」という質問で3.3ポイント（平均は2.9）となっていました。世界史の小テストや授業の振り返りフォームなどが学修の手助けになったと考えられます。「問19：この授業において、授業時間を含めた一週間の平均学修時間」が非常に長く、半数以上の方が2時間以上3時間未満と回答しています。本授業はマスコミ学科の選択必修科目ですが、学ぶ姿勢の高い学生が多く集まったことに感謝します。世界史が苦手という人もメディアの歴史を中心に学ぶことで、高校までの「歴史」の学びなおしになるかもしれません。実際「再度学ぶことができていい経験だった」というコメントを頂きました。受講者の振り返りフォームの感想も毎回楽しく拝見しました。この授業が、メディアの今後を考える手助けになればと思います。</p>
吉田一康	企業と法Ⅰ	<p>全般的に、高い評価をして頂きましてありがとうございます。その中であって、設問13「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」が4.1と、ひとつだけ突出して低い評価だった点は、以前の授業評価でも同様な指摘をされていたことから、何らかの対策が必要と感じました。Power Pointの画面の文字を大きくして、図面などを綺麗に書き直したのですが、更に見やすいように工夫が必要と感じました。</p> <p>設問5「教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取組をおこなった」が4.2で、設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が2.7だった点については、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを与えて、予習や復習を習慣づけなければならないと考えました。</p> <p>受講者の授業態度については、遅刻の入室者がややみられる以外は、驚くほど静かで真面目なものでした。御礼申し上げます。</p>
稲葉 隆	ファッション色彩論	<p>ファッション色彩論に対する「学生による授業評価アンケート」の結果は概ね良好であったと思います。すべての項目において全学平均と同等あるいは上回っていたことは、受講生が真摯に授業に取り組んだ結果であるとも言えます。</p> <p>そして、質問23「総合的に考えてこの授業を後輩や他の人に薦めたい」は全体の96%が肯定的な回答でした。出席率・課題提出率も高いクラスでしたので、今後も引き続き授業内容に工夫したいと考えています。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
安岡義文	文化財特論	<p>全額平均と比べて問6の予習・復習があまりされていなかったことがわかったが、今後の授業計画では、復習や予習のための宿題などを出すなどして、自宅での学習の時間もより多く割いてもらえるように尽力したい。</p> <p>コメント欄には、「レポート作成期間に比例していない量」との指摘が1件あり、今後量を減らすことを検討したい。</p> <p>また「語句や記述が難しかった」というコメントも1件あり、より平易な言葉や、言葉の開設をより丁寧に行っていきたい。</p>
安岡義文	美術工芸研究I	<p>全額平均と比べて問6の予習・復習があまりされていなかったことがわかったが、今後の授業計画では、復習や予習のための宿題などを出すなどして、自宅での学習の時間もより多く割いてもらえるように尽力したい。</p> <p>コメント欄には、「マイクを使ってもらえると良かった」とあり、今後、マイクの使用を検討する。</p>
大村賢悟	産業・組織心理学	<p>この科目は、受講生が比較的多いため、講義中での教員と学生との交流や、学生同士の議論などが不足がちです。そのため、この科目では、授業後に毎回小テストを課すとともに授業内容に対する質問、意見、感想、要望（自由記入）を伺うことにしています。自由記述欄に「講義の後の小テストのフィードバックがとても丁寧で、ためになることが書いてあったり、アドバイスや誉め言葉などがあってモチベーションがあがりました」、「ショートテストで間違いがあったとき、詳しく解説してくれるのが非常に良いと思いました」。また、感想を記入するとそれに対してコメントも返してくれるので、先生の熱意が伝わってきました」と書かれていましたが、学習意欲ややる気のある学生からの質問、意見、感想には徹底的にお答えすることに心がけています。心理学を生活や仕事に活かしたいと考えている人は、ぜひ受講してください。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
関根理恵	博物館資料論	<p>「テストをやる以上、どこがテストに出るのかを話してほしかった。」との意見がありますが、事前に、テスト範囲や勉強しておく点とよい点を授業で説明しています。</p> <p>学芸員採用試験の大部分は、公務員試験の場合、広汎な範囲に対応する必要があります。その部分だけを丸暗記したらよいということではありません。授業の単元自体が、重点項目についての絞って構成し、解説をしていますので、単元ごとに勉強をするとよいでしょう。また、配布している授業資料には、単元ごとに、総括部分に重要ポイントを記述していますので、その点を重点的に学習するとよかったですね。</p> <p>「板書も少なく」という指摘がありました。板書をしていると解説時間が少なくなってしまいますので、板書のかわりに、講義内容をまとめた授業資料をすべての授業で配布しています。自身で勉強する際には、授業資料をよく読むなど、活用してください。その他、理解を深めるための参考資料や、さらに詳細に説明した補助資料なども配布しています。復習や予習で+αを学べるようになっていきますので、資料を印刷したものにメモを書き入れたり、ノートにポイントを書き写したりしながら、学習をするとよいでしょう。</p> <p>「ただ資料を読む授業になっている」という指摘がありましたが、動画や画像資料等も豊富に使っていますので、事実ではありません。きちんと授業に積極的に参加してもらいたいです。授業の中では、イヤホンで音楽等を聴いたり、インターネットで授業に無関係な検索をしている学生がいます。何度か注意をしましたが、重要な事だと思ってもらえないよう改善されませんでした。残念なことです。学生の皆さんには、集中力を途切れさせることなく授業に積極的に参加して欲しいと思います。</p> <p>一部の学生は、プロジェクターの画像や動画すら見ていませんでした。動画が始まると机に伏して寝てしまう学生や、授業とは明らかに無関係なタイミングで不必要にずっとタイピングをしているような学生等がいるのは、大変残念なことだと思います。</p>